

基山町

No.84

議会だより

【特集】3年ぶりの子ども議会

令和4年第4回定例会

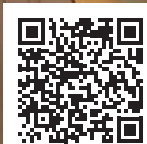
12月議会

基山町議会 | 検索

町議会ホームページ

<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>

<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>



特集	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	2
補正予算	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	4
議案審議	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	6
一般質問	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	8
視察報告	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	16

令和5年1月31日発行



3年ぶり 子ども議会開会



ふるさと基山への熱い想いを語った生徒たち

基山中3年生による4回目の「子ども議会」
 10月1日に開かれた子ども議会では、町長役、執行部役、議員役それぞれに分かれて熱心な議論が交わされました。
 議案も生徒自ら作成し、議場での審議を行い、賛成・反対の討論を経て採決を行いました。
 採決の結果、第1号・第2号議案が可決、第3号議案が否決されました。
 この貴重な体験は、今後のさらなる飛躍につながると思います。
 (天本 勉)

「移動販売車両の設置及び管理に関する条例」の制定について
 提案理由：本町に移動販売車両を設置し、高齢者や妊婦の方など便利に利用できる環境整備を行い、安心でより良い生活を提供する。

具体的には

- 1 町内の業者に委託し、連携することで質の向上を図る
- 2 車両の運行範囲は中山間地等を中心に行い、徐々に範囲を広めていくなど



高齢者や妊婦の方などが安心してより良い生活ができるよう提案する
 たぐちりお 田口梨桜 企画政策課長



条例案3件の提案理由説明を行う
 こにしなつか 小西夏華 町長



放課後に、リハーサルを含め8回集まり議案を作成。
 基山町の未来に夢を膨らませて、真剣に議論する生徒たち。



はやしたたくま 林田拓磨 議員



やなわここね 柳川心音 議員



さとうなほ 佐藤奈歩 議員



まつふうた 松尾風汰 議員



きはらこうた 木原滉拓 議員

11人の議員の
 活発な発言



ゲンジボタルの名所づくりで
知名度アップを提案する

こがせいな
古賀聖那 まちづくり課長

「基山町のホタルのための環境改善条例」の制定について

提案理由：基山町はゲンジボタルやオキナグサが生息する自然豊かな町である。自然環境を守るためにもホタルの保護活動を行い、ゲンジボタルの名所として町内外に広くアピールする。

具体的には

- 1 鑑賞会を行うなどゲンジボタルの名所として知名度アップに努める
- 2 ホタル週間を制定し、ボランティア清掃や広報活動を行う
- 3 ホタルや河川を守るため環境保護活動を行う

「長崎街道の整備、保存及び活用についての条例」の制定について

提案理由：魅力ある街づくりのため歴史的資源である長崎街道を整備し、活用することで情緒的な景観を創出し、町内外からの観光客を呼び込む。

具体的には

- 1 長崎街道の歴史的景観を守り、その魅力を発信する
- 2 イベントを開催し、長崎街道の歴史を伝える
- 3 街道沿いの歴史的な建物を店舗等に活用し、観光客を呼び込む



歴史ある長崎街道を活かした
まちづくりを提案する

えがしら いぶき
江頭依吹 産業振興課長

参加した中学生の感想

- 議員が気になることを理解して答える。
それに向けて準備することに苦労したが楽しかった。
- みんなで考えた議案を説明し、可決されるよう努めることに責任の重さを感じた。
- 学校とは違う雰囲気だったので、良い経験ができた。
- 自分の思っていることを上手に言葉で表現することが難しかった。
- 町政の難しさを感じた。またこの活動を通して、選挙への考え方も良いもの変わったと思う。

傍聴者の声

- 40代：中学生の基山町をより良くしたい気持ちが伝わった。
- 50代：打合せがない質問こそ、子どもの本当の気持ちが分かると思った。
- 60代：しっかりとした言葉で、生徒の皆さんの理解度が優れている。
- 70代：中学生ともなると情報も掴んでいるようで多方面からの視点での意見があるものだと感じた。
- 70代：想定外の質疑に真剣さが垣間見えた。



もちまつおうすけ
用松央裕 議員



いなげ まい
稲毛 舞 議員



いし いってっぺい
石井哲平 議員



かわむらこうしろう
川村航志朗 議員



あんどう かほ
安東華保 議員



いしばしみなみ
石橋未菜美 議員

第2回臨時会（10月6日）

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案30	令和4年度一般会計補正予算（第4号）

住民税非課税世帯等に5万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰で、特に影響が大きい低所得世帯や家計急変世帯に対し、生活資金を支援

■ 主な事業 ■

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

事業費 6904万円

給付対象者は、令和4年度分の住民税非課税世帯とコロナウイルスの影響を受けて家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情のある世帯。また、DV（家庭内暴力）などによる避難世帯には住民票がなくても給付する。1350世帯が対象。

第3回臨時会（10月27日）

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案31	令和4年度一般会計補正予算（第5号）

物価高騰で9994万円補正

電力・ガス・食料品などの価格高騰重点支援地方交付金により、7つの事業を追加

■ 主な事業 ■

生活支援特別給付金

事業費 4264万円

電力・ガス・食料品などの値上がりで大きな影響を受けている1665世帯に、1世帯当たり25000円給付。対象者は①障害者手帳交付世帯②低所得者世帯③児童扶養手当受給世帯④65歳以上の一人暮らし高齢者世帯⑤要介護4以上の世帯。

第3子以降給食費無料

事業費 78万円

対象は小中学校に同時に通う第3子以降児童生徒71人。また、教育・保育施設に通う児童で中

学生以下の第3子以降の子どもの副食費も全額助成、対象児童57人。

プレミアム商品券再発行

事業費 3755万円

小規模事業者応援のため1冊額面7000円を5000円で販売（金券）。また、飲食店応援に1冊6500円を5000円で販売（銀券）。

保育室にコロナ飛沫対策

事業費 516万円

2歳、3歳児の保育室天井に吸音材などを設置することで、子どもなどの大声を抑える。

第4回定例会（12月6日～16日）

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案32	基山町議会議員及び基山町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	議案38	国スポ・全障スポ用卓球台等備品の取得について
議案33	基山町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び基山町職員の給与に関する条例の一部改正について	議案39	令和4年度一般会計補正予算（第6号）
議案34	基山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	議案40	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案35	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正について	議案41	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案36	基山町職員の定年等に関する条例等の一部改正について	議案42	令和4年度下水道事業会計補正予算（第3号）
同意4	基山町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	議案43	令和4年度一般会計補正予算（第7号）
議案37	下工3補第1号宝満川処理区第2汚水幹線管路築造工事（1工区）請負契約の変更について		

出産・子育て応援給付金 10万円 予算総額 88億4890万円に

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう相談に応じ、必要な支援を行う。
妊娠届出時5万円、出産届出後5万円、合計10万円を給付。
対象者は、令和4年4月以降に出産された方。

■ 主な事業 ■

議員、町長、副町長、教育長ボーナス引き上げ
国の人事院勧告に従い、ボーナスを0.05月分引上げる。

基山中学校エアコン整備 事業費202万円
今後教室の増加が見込まれるため、令和5年度に3教室にエアコン設置のための実施設計。

鳥栖工業全国高校駅伝大会に10万円

令和4年12月25日に開催された全国高校駅伝大会に、佐賀県代表として参加した鳥栖工業に激励金を交付。

選任に同意した委員（敬称略）

基山町固定資産評価審査委員会委員

とりかい ひでみ
鳥飼 秀巳（園部）

任期：令和4年12月26日から
令和7年12月25日まで



公務員の定年 65歳時代へ突入

審査・調査
の担当課

総務課・企画政策課・財政課・税務課
まちづくり課・出納室・教育学習課

総務文教常任委員会

第4回定例会 議案審議

町職員の定年等に関する条例等の一部改正

公務員の定年延長の仕組み

定年の段階的な引き上げ
60歳→65歳へ
60歳以上の給与抑制
60歳以上は60歳前の7割水準に
役職定年制の導入
課長級以上の管理職は原則60歳で外す
短時間勤務制の採用
希望する職員は定年前の再任用による短時間勤務を可能に

問

令和5年4月からの適用だが、退職金の算定基準給与は何歳時点での算出か。

答

60歳時の給料表で算出し、定年退職時に支払う。

問

60歳以降の配置転換の考え方は。

答

一般事務職は他の部署への配置が可能。専門職は同部署での後進育成となる。

提案

対象となる職員には、丁寧な説明を行うこと。

国スポ・全障スポン卓球台等備品を取得

問

入札予定価格と落札価格に大きな開きがある。納入備品に最低制限価格は設けないのか。

答

備品については、品質を確保できれば安価に購入したいことから、最低制限を設けていない。

提案

大会終了後の町民への備品活用とともに、定価と実勢価格を把握し、精度の高い入札価格設定をすること。

一般会計補正予算

県内プロスポーツ交流事業委託料 650万円

問

この委託料の内容は。

答

ふるさと納税の県内プロスポーツ支援コースを活用。サガン鳥栖、佐賀バルナーズの試合会場への町民招待や選手と子ども達との交流会、基山町の特産品PR等を行う。



子どもたちとの交流（佐賀バルナーズ）

提案

委託料が高額であるため、活用方法等の妥当性も議論すべき。年度後半で補正予算を計上せず、当初予算として議会の審査を受け、計画的に事業に取り組むこと。

所管事務調査

町の基金と管理運用は

町は「一般会計」、「特別会計（国保）」、「企業会計（下水道）」の3会計に各々基金を積み立てている。また、使う目的を決めて積み立てる特定目的基金も保有している。当委員会では町の様々な基金に対し、その内容と管理内容を把握するため調査を行った。



基金の有効活用を

調査の結果、当委員会は予算組みをした事業は確実に実施すること、剰余金は適正に基金に積み立てること、大きな公共施設の整備には特定目的基金増設の検討を提案した。

妊娠時・出生時に各5万円 子育て支援

厚生産業常任委員会

審査、調査
の担当課

住民課・健康増進課・福祉課・こども課
産業振興課・定住促進課・建設課

第4回定例会 議案審議

宝満川処理区第2汚水幹線
管路築造工事（1工区）請
負契約変更

問

請負代金の減額変更
理由は。

答

当初、道路の夜間工事に伴う交通誘導員数で積算していたが、視認性の高い信号機導入や照明灯設置の変更による交通誘導員数の削減等で減額となった。

提案 工事完了後は、速やかに車道の表層再舗装を行うこと。

一般会計補正予算

出産・子育て応援給付金事業
1921万円

問

安心して出産・子育てができる経済的支援とは何か。

答

妊娠届出時に5万円、出生届出後に子ども

1人5万円の給付と、伴走型相談支援として、新たに妊娠8ヶ月前後での面談が必要となり、案内文やアンケートを送付して、希望者に個別相談を行う。



給付金で子育て支援

障害児通所給付費

7351万円

問

近年、利用者の増加で給付費も増加している。町外送迎等も給付対象であり、町内にも事業所が増えているので、利用を促せないか。

答

町内送迎も給付対象であり、事業所選択は、利用者の特性や事業所の療育内容に応じて支援専門員が推奨している。

問

町内事業所も増え、管理体制に問題はないか。

答

県の監査に合わせて町職員も同行し、事業内容を確認している。

提案

利用者の増加により、県へ町負担軽減を要望することと、事業所で虐待等の問題行動が起こらないよう管理強化に務めること。

国民健康保険特別会計補正予算

問

今年度の一般被保険者の医療費の状況は。

答

医療機関や受診者もコロナ禍による診療控えから通常診療に戻り、町の給付費が3月～9月の月平均額が、過去複数年度と比較して最も高く、初めて1億円を超えている。

所管事務調査

高齢者世帯へ、聞き取り訪問

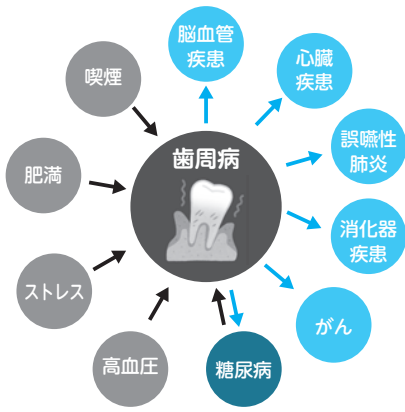
聞き取り訪問

一人暮らしや高齢者世帯の増加に伴い、令和3年4月に福祉課内にプラチナ社会政策室を新設した。行政自らが高齢者世帯へ訪問して、現状の困り事などを聞き取り、個別カルテの作成を進めている。

訪問して一番多い相談は健康のこと、次に移動手段や認知症など多岐に渡ると説明を受けた。当委員会は、関係各課との連携や支援体制の図式化により、適切な支援を行うよう提案した。



高齢者世帯への訪問



糖尿病予防に口腔ケアを



問 就労世代へ歯科検診料補助を
答 検診呼びかけを強化する

まつ いし けん じ
松石健児 議員



問 町独自の歯科検診推進事業への取り組みを

問 政府は国民皆歯科健診推進事業として就労世代の歯科健康診査等を検討しているが、3年以上先の予定。歯周病と糖尿病等との因果関係も知られている。医療費抑制対策として、就労世代への歯科検診料補助を町独自で行えないか。

答 現在、40、50、60、70歳を対象とした歯周疾患検診を実施。歯科検診と特定健診受診の呼び掛けを強化したい。

寄付金の取り組みと財政力の強化を

問 ふるさと納税（寄附金）、令和4年度の寄附額の状況は。

答 11月末現在の寄附申込額は約5億3000万円。本年度の決算では9億円程度を見込んでいます。

問 寄附者返礼品の取り組みは。

答 新たに「伊藤園のお茶」を追加。現状の品物に加え、町内体験型の返礼品開発も継続する。

問 ふるさと応援寄附基金の積立残高は約9億1千600万円。一方、町の貯金でもある財政調整基金は約8億3千160万円。寄附基金は不安定な財源である。もつと財政調整基金の増額に取り組むべきでは。

答 財政規模の1割程度が妥当と考えているが、今後も財政力強化に取り組んでいきたい。



問 公共施設等の更新費用の推計は
答 令和27年度までに197億円必要

あま もと つとむ
天本 勉 議員



問 基山町公共施設等総合管理計画が令和4年3月に改訂された。目的と基本的な方針は何か。

答 基山町の建築物、道路など公共施設等の全体を把握し、長期的な視点にたち更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行っていく。また、財政負担の軽減・平準化を行い、公共施設等の最適な配置を実現していく。

問 基山町の公共施設等の現状は。

答 建築物が45施設145棟、町道が142km、橋梁が1000橋、都市公園が10か所、下水道が約69kmである。

問 この計画期間と公共施設等の更新費用（将来コスト）の推計は。

答 計画期間は平成28年度から令和27年度までの30年間。更新費用は197億円、年7・9億円と推計している。



町民会館は早急な漏水対策が必要

問 更新費用推計における基本的な考え方は。

答 国の方針に基づき、建築物は大規模改修が30年、建替えは60年としている。また、更新規模は現在保有している同じ面積、延長を基本としている。

問 今後の維持・管理の方針は。

答 施設の長寿命化・トータルコストの縮減、予算の平準化を図るため、日常点検及び定期点検を実施し、予防保全型の維持管理に努めていく。

問 現在行っている対応は。

答 野良猫対策の啓発や避妊・去勢手術を行い、元の場所に戻す活動をしている団体に「まちづくり基金」での支援をしている。また、ノミダニ処置と避妊・去勢手術の無償チケットも支給し活用してもらっている。



飼主のいない猫たち（基山草スキー場周辺）

問

飼主のいない猫をどうするか？
 答 適正な飼育の啓発等に取り組む



中村 絵理 議員

問 今後の取り組みは。

答 飼い猫の適正な飼育の啓発や猫へ餌を与えない指導の他、活動団体との連携強化を図る。基山草スキー場の野良猫についても活動団体に相談しながら避妊・去勢活動の実施について検討する。

庁舎・保健センター内
 トイレ設備の改善について

問 職員や来訪者の方々への健康管理及び環境整備として、施設内トイレへ温水洗浄便座設置の推進と和式トイレへの手すり設置に対し、速やかな予算化と対応ができないか。

答 職員の環境整備は、必要性や費用対効果を考慮し対処する。利用者への環境整備は、今後、改善すべき箇所についても検討する。



問

道路補修の判断基準は？
 答 安全性に関わるものを優先



末次 明 議員

問 基山町は国道・県道にどこまで関わっているのか。役割は。

答 管理者へ道路陥没、路面起伏など異常時の報告、歩道への防護柵設置等の要望を行っている。

問 町道には1級2級3級とあるが管理・修繕の優先順位に影響しているのか。町民からの陥没等の道路情報には速やかに対処してほしい。痛みが少ないうちに、町民目線での修繕を心がけてほしい。

答 等級に関係なく安全性、道路の傷み具合と、その他の要素を総合的に勘案した上で判断している。町民からの道路情報は時系列で管理しており7割は対応し残りも検討して情報を管理している。

問 歩道の設置や街路樹の剪定に町としての方針はあるのか。ケヤキなど大きくなると効用だけでなく弊害もある。どう対応するか。



大きくなったケヤキの木

保育・教育環境整備が先

問 子どもが増えることは喜ばしいが保育、学校施設の受け入れ態勢は十分に整備されているのか。若基小の小規模特認校制度はうまくいってほしいが最善策ではない。

答 数年は増加傾向が続くが、民間の保育園で対応できる。小規模特認校制度は周知も進んでいる。



問 高齢者の補聴器購入助成制度を
答 聴力検査を実施し、検討したい



おおやまかつよ
大山勝代 議員

問 佐賀県はまだ実施していないが、全国118の自治体では加齢性難聴者の補聴器購入助成制度を実施している。私は何度か質問をしているが、本町の購入助成はどこまで検討されているか。

答 「介護予防検診」の中で聴力検査を行い、連携協定している久留米大学と認知症との関係性を調べ、その後購入助成の是非を検討したい。

問 福祉課の「プラチナ社会政策室」の設置目的は何か。

答 今後も増加する高齢者の健康・家族関係・相続・終活など多岐に渡る課題に対し、その総合窓口になることを目指している。

問 その中で「生活支援コーディネーター」の活動内容は。

答 生活支援コーディネーターは二人一組で高齢者宅を訪問して話を伺い、個々の生活状態を把握しカルテを作成する。その後プラチ



保育園の吸音パネル

ナ社会政策室では関係各課と連携し、必要な支援策を提案していく。
基山保育園の保育士の数は

問 国が定める幼児のそれぞれの段階での保育士の配置の数は、この数十年改善されていない。配慮を要する子もいる中で、それらの支援はどうしているか。

答 安心安全なサービスを提供する体制を整え、必要に応じて保育士等を増員して対応している。



問 町の認知症の現状は
答 10月末現在で450人



こうのやすひさ
河野保久 議員

問 町の認知症の現状は。

答 認知症と判断される日常生活自立度Ⅱa以上の方は、10月末現在450人。昨年と同じレベル。

問 認知症サポーター養成講座（小・中含む）の現状・実績は。

答 令和4年度の養成講座は5年の2月に開催予定。小学校は11月に開催、若基小で77人・基山小で118人が受講。基山中でも11月に開催し、136人が受講した。

問 声かけ訓練の状況は。

答 平成27年度より9つの区で実施しているが、令和2〜3年度はコロナ禍のため、未実施、今年度は3月に開催したいと考えている。

問 新たに行っている施策は。

答 徘徊高齢者等安心安全ネットワーク事業として、徘徊高齢者の保護者等とメールのやり取りができるQRコード付きシールを導入

する。鳥栖地区広域市町村圏組合と協議し、構成市町村で導入予定のこのシールを使用し、連携した声かけ訓練をすすめていく。

アトラスけやき台の空き地

問 町に対して空き地の有効利用について協議の要請があれば応じるのか。

答 旭化成から自社持ち分を町に譲渡する意向があれば、マンション所有者と共有の立場になるので、協議をする可能性は生まれるのではないかと。



認知症カフェの講座風景



問 不登校の「学びの保障」は
答 GIGAスクール端末活用で

まつ 石 信 男 議員



教育支援センター「まいるーむ」

問 佐賀県の2021年度不登校は2044人、過去最多、要因は。
答 どの児童生徒にも起こり得る問題で、子どもや家庭の問題との捉え方でなく、様々な要因がある。町立小中学校では不登校・不登校傾向（教室外登校など）は41人。

問 不登校児童生徒の「学びの保障」はどうしているのか。
答 教育支援センター「まいるーむ」やマナビバ、GIGAスクール端末の活用で確保している。

問 不登校が起きない教育環境づくりはどうしているか。

答 中学校で「別室における学校生活支援事業」で指導員を配置。また校則を変え、来年度から制服も新しくする。ネットいじめにも対応している。

**第3子以降給食費無償
来年度も継続**

問 急激な物価高騰、コロナ禍のなか、子育て支援策拡充を提案する①給食費第2子以降の無償化②国保税の子どもの均等割、中学生まで減免③ひとり親家庭支援強化。

答 第3子以降は無償化しており、来年度も継続。国保税の子ども均等割減免拡充は、今後検討。ひとり親家庭支援については、来年度に「子供の生活実態調査」を実施し、特に困難を抱えた子どもや家庭の支援について、これまで以上の情報共有と連携強化を検討する。



問 消防格納庫の管理は町ですべき
答 消防格納庫の管理は各部の再編後に町が行う

とり 飼 勝 美 議員



問 消防団員の欠員26人が生じている原因は。

答 少子化と共に各部の適齢者がいない状況である。

問 各部の統廃合に向けた協議はどのようになされているのか。

答 昨年、消防団員・消防委員会・区長等と協議中である。

問 今年8月に議会へ示した再編方針案の二案とは何か。

答 一案は、統廃合はしないで、定員定数を減少する。二案は、現在の九部制を六部制に統合する。

消防格納庫の管理責任は基山町ではないのか

問 消防格納庫の管理は、町で管理すべきではないのか。

答 町の管理と認識している。

問 格納庫の管理は町と認識していないなぜ管理しないのか。

答 再編完了後、町で管理する。

運転免許証の自主返納とは

問 自主返納制度とはなにか。

答 高齢運転者の交通事故が増加しているため、65歳以上の方が役場住民課で自主返納手続きが出来る。

問 免許証の自主返納で、どのような町独自の特典があるのか。

答 公的証明書の「運転経歴証明書」の交付、町の循環バスの無料乗車ができる。



公的証明の運転経歴証明書



舗装整備が待たれる生活道路

傷んだ生活道路の舗装を整備

問 路面性状調査の結果は。

答 3級町道で全延長の10・5%が補修を必要とされる状況で、既存集落地や山間部、中心市街地から離れた地域が多い状況である。

問 調査の結果を踏まえ、維持補修はどのように考えるのか。

答 これまで、地域からのご意見、ご要望に対して対処療法的に進め

問 今後、生活道路の整備は

答 管理計画に沿って着実に実施

栗野久明議員



てきたが、今後は「舗装維持管理計画」に沿って計画的に進める。

問 その計画の内容は。

答 1・2級町道およびその他町道で、補修の必要な箇所は優先順位をつけて、令和5年度から順次計画的に整備していくこととしている。突発的に発生する舗装の傷んだ箇所は、対処療法的に行う。

問 小児接種の判断はどのように

答 新型コロナに小児が感染すると大人とは違った症状もあり、死亡者数が最近上昇している。保護者は、接種による副作用も心配し、小児のワクチン接種の判断に迷っている。接種を行うかどうかは各家庭の判断とするならば、正しい判断資料を提供する必要がある。

答 ワクチン接種は感染予防、発症予防、特に重症化予防に効果があるとされている。判断資料の提供と共に、予防接種への理解を深めていただき推進につなげたい。

問 消防団の一番の課題はなにか

答 団員の確保が困難であることだ

品川義則議員



問 消防団の再編成案を議会や区・消防団に示されたが、案を作成した要因は何か。

答 団員確保が困難であることを解消するため、団員定数削減、団の再編成案を作成した。

問 説明した区や消防団の反応はどうだったか。

答 これまで、6区7区けやき台の4つの区の区長、区長代理に説明し、意見交換をした。今後は区内部の意見を踏まえて再協議をする。

また、6部7部9部の部長、部長補佐に説明を行い、各部の状況に違いはあるものの一定の理解を得ている。

問 団員の消防活動の負担を減らすことは検討したのか。

答 年末警戒は5日間を3日間に短縮、夏季訓練を屋外の規律訓練から総合体育館での普通救急救命

講習に変更予定であり、団員の負担軽減を図る。

問 サイレン吹鳴を変更した理由は何か。

答 防火意識の啓発等を目的に実施していたが、子どもが眠らない等の意見があったので変更した。



消防団員募集中

問 広報誌発行の目的と、月1回に発行回数見直しの意図は何か。

広報きやま、発行回数見直し



目の屈折検査室

問 事前に目の発達や検査導入の情報提供がなかったのはなぜか。

答 対象者の保護者には、案内通知で知らせている。今後、新規事業等は、本町ホームページ等で発信していく。

問 なぜ屈折検査が必要なのか。

答 子どもの目は、3歳頃までに急速に発達し6歳から8歳にほぼ完成する。検査機器で子どもの弱視を早期発見し治療につなげる。



問 3歳児健診に、目の屈折検査を

答 本年7月から実施している



おおくほ 大久保 由美子 議員

問 図書館ホームページの情報やサービスの掲載見直しが必要では。必要の情報が得やすいように、来年2月のシステム更新の際に大幅に見直していきたい。

答 近隣自治体や当館システム保守事業者も導入実績がない。先進地の状況調査を行い検討する。

問 図書の貸出利用券にフェリカ機能カード(WAON、nanacoなど)を追加する自治体が増えていく。町も取り組みができればか。

答 特集等を含め取り組みたい。

問 さらに親しみやすい広報誌を。

答 目的は正確な情報を伝えるなど。意図は広報誌の内容充実と質の向上や区長や組合長の配布負担の軽減を図る。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	結果
意見書	健康保険証廃止に反対する意見書	不採択(賛成少数)
陳情書	要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行することについての意見書提出に関する要望	全議員に配布

議長交際費執行状況表 (令和4年度 7月~12月)

支出種別	支出金額	支出の相手方及び行事名等	
賛助	5,000	7/26~28	被爆77周年原水爆禁止世界大会
接遇	3,456	7/26	台湾総領事来庁
会費	24,000	10/25	令和4年度基山経済クラブ年会費
接遇	15,044	11/7~9	厚生産業常任委員会視察研修 3件
		11/15~17	総務文教常任委員会視察研修 2件
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
4	47,500	6	56,873

あなたの声を町政に！ 参加延べ 36人

たくさんの貴重な声、ご意見をありがとうございます。



テーマ

11月2日（水） 防災、まちづくり

11月5日（土） 教育、安全安心（防犯）

11月4日（金） 道路、災害

11月6日（日） 子育て、高齢者支援、移住定住

参加者の声

「懇談をもう少し深めていくと、良い方向が見えてくると思う。」

「自由に発言させていただき、ありがたかった。」

「ざっくばらんに話せて良かった。」

「ぜひ若い方に出席してもらえるような会に。」

「テーマの組み合わせを検討すべき。」

防災、まちづくり、教育、安全安心

問 消防団の諸問題に町議会も誠実に取り組んでほしい。各部の課題はどこに投げかけて解決すればよいか。町内企業との協定は結べないのか。

議会 部の編成や消防団員の待遇改善など、町からの提案に真摯に取り組んでいます。また、一般質問などで複数の議員が消防団の課題に向き合っています。消防の行事や出動回数は部長会等で対応していただきたい。各部とも区長など地域と綿密に連携を取ってほしい。また、企業協定はこれからの検討課題です。

問 台風14号接近時の9月18日に総務課より、13時から避難指示を出すので、区長に対し高齢者の方々への避難周知を行ってほしい旨の連絡があった。区長に対し安易に委ねない、人頼みにしてもらわないでほしい。

議会 地域防災計画に基づき行っている。再度担当課に確認していきたい。

問 若基小学校は小規模でも特徴を生かしていけば良いのではないかと。基山小学校は今ある校舎を改修するのではなく、周辺の町有地を有効活用して教室を増設するべきではないかと。

議会 議会でも町立小学校の学校運営に関する特別委員会を設けて議論し、町に提案を行っている。小規模特認校制度を含め、最良の小学校運営ができるように議会でも取り組んでいきたい。



消防訓練の様子

第10回 町議会と語ろう会を開催

道路、災害、子育て支援、高齢者支援、移住定住

問 9区の場合袋小路が多く、子どもたちが遊んでいる。子どもの声がうるさい、勝手に敷地内に入るなどの声がある。区長として回覧で回すことは可能だと思うが迷っている。子どもの遊び場所、行き場所はどこなのかと考えるとどうなのか、良いアイデアはないか。

議会 コミュニケーションを考えると難しい問題である。道路では遊ばないというのは基本であると思う。町民の皆さんへ遊び場・公園などを紹介していきたい。

問 認知症に対する正しい知識を持つことが重要。民生委員、議員、新入職員、学校教育プログラムに導入してほしい。オレンジクラブとタイアップして、図書館などで講演会を開催してほしい。

議会 小学校では、認知症子どもサポーター講座としてすでに導入している。また、大人向けの認知症サポーター養成講座も毎年度実施しているが、民生委員、議員、新入職員への指導と講演会の開催については、確認し提案したい。

問 地域猫、特に基山山頂^{きざん}駐車場付近の猫が増えている。避妊対策はとれないのか。

議会 基山山頂^{きざん}付近に長年、猫が住み着いていることは町でも認識している。猫愛好家がエサやりをすることを止めていただく活動に取り組みなければならない。

問 豪雨で宮浦共乾東側の道路（3級町道才の上3号線）が冠水し陥没している。1haの農地があり、軽トラックが通れるよう早急に復旧工事を行ってほしい。ホテルの鑑賞地になっているが草刈も行っていない。

議会 3級町道はほとんどで舗装されていない道路が多い。壊れている箇所については早急に補修するよう申し入れたい。

問 点字ブロックが敷設されているが、設置の目的や基準が分からない。有る所や無い所もある。例えば、基山駅から役場までは敷設するとか設置方針を明確にしてほしい。

議会 設置基準はあると思う。障がい者の方からの要望も挙がっているので、担当課に基準、方針についても確認していきたい。



点字ブロックの設置方針を明確に

問 道路補修について、全体スケジュールはどうなっているのか。

議会 令和3年度に建設課公共工事計画室において、道路新設や改良等公共工事の優先順位を含めた「公共施設等管理計画」が改訂されたので活用願いたい。

その他の主な意見・要望

- ・基肄城跡など、基山町の地域資源を発掘し移住定住希望者への情報発信にもっと活用してほしい。移住者の声をもっと聞いたらどうか。
- ・中央公園駐車場出入り口（県道側）を含め利用しやすいように整備してほしい。
- ・役場駐車場のラインが狭い。もう少し駐車に余裕を持たせてほしい。
- ・白坂地区の道路が狭く通学路が危険なので、歩道などの整備をしてほしい。
- ・消防団員の充足率は85%程度。制度改革及び団員募集方法を検討すべきでは。

総務文教常任委員会行政視察

11月15日～17日

富山県富山市

ゼロカーボンシティ宣言後の取り組み

日本の代表的な山岳地帯と豊かな富山湾を有している。ゼロカーボンシティ宣言する自治体も多いが、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市にも選定され、先駆的に取り組まれている。



視察研修の様子

石川県加賀市

小中学校の学力向上の取り組み

全国的に教育水準が高いと言われている地域であり、地域全体で教育の課題を解消しようと取り組まれている。教育のレベルアップに近道はなく、教育環境整備も積み重ねが大事である。基山町も地道に取り組まなければならない。

厚生産業常任委員会行政視察

11月7日～9日

岩手県紫波町

オガールプロジェクト

コンパクトシティ化した複合施設のまちづくり、街の魅力や住民と新たな応援者を繋ぐ関係人口について研修した。

秋田県美郷町

特産品「美郷雪華」ブランド化

町花ラベンダーを活かした特産品開発の認定制度とブランド化について研修した。

秋田県横手市

つながる横手愛マッチング

市外の応援者を応援市民として、応援人口創出の広報誌発行等について研修した。



横手市本会議場にて

商工会役員との意見交換会に参加 10月26日(水)

基山町産業振興協議会との連携、商工会インボイス制度導入等の商工会が抱える課題や、少子高齢化・人口減少に対する商工会の役割やデジタル化への対応など、今後の目標について意見交換会を行いました。

町議会広報研修会に参加 11月24日(木)

情報通信技術を活用した、今後の議会広報及び議会だより編集についての研修を受講しました。今後、皆様に分かりやすく、興味を持っていただけるような編集の一助としたいと思います。

令和5年 第1回基山町議会 定例会

2月28日(火)～3月17日(金)

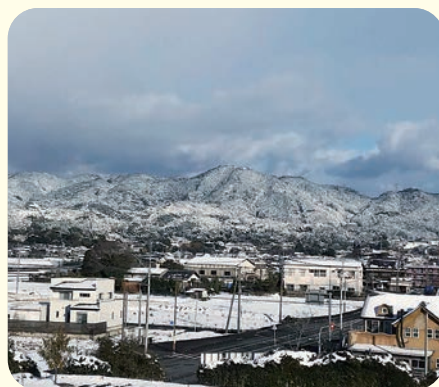
一般質問 3月1日(水)～3日(金)

編集後記

凛として

「子ども議会」に参加していただいた中学3年生の15名の生徒の皆さん、「ぎやま創作劇 枯松二国境物語」を演じた皆さんの堂々たる姿。力強く、熱い思いが伝わりとても素晴らしいものでした。

朝日を浴び、雪を冠した基肆城と凛とした皆さんの姿が重なり、希望と身の引き締まる思いがしました。(天本 勉)



雪を冠した基肆城

広報広聴常任委員会

委員長	栗野 久明	委員	大久保由美子
副委員長	松石 信男	委員	天本 勉
委員	末次 明	委員	中村 絵理